

まつかぜ

2013年2月 第33号

行正丸



帰港！



2013年2月
バレンタインに
松風台埠頭へ接岸

目次

会長挨拶

行正龍昭

副会長挨拶

井野昭子

事務局長挨拶

新保晃

総務書記挨拶

豊島智紗子

会計1挨拶

齋藤立子

会計2挨拶

富山順子

監査挨拶

橘田憲次

班長さん語録！

◆転出入・計報記録

※編集後記

松風台自治会
編集：文化広報部

※役員名以外の個人名は削除しています。



一年をふりかえって 会長 行正龍昭

「あっという間に過ぎてしまった」というのが率直な感想です

春の引き継ぎ、総会準備

毎年、夏野菜の苗をあれこれ集めていた気分高揚の時期、これまでは人ごとのように見
ていた自治会の総会がその準備の忙しさで今年はいつもと全く違う気分でした

「これが自治会なのか」と実感しました

ゴールデンウィークも実感しないまま、夏祭りがちらついてきました

夏祭り

梅雨の頃、「さあーこれから仕事だ」と言わんばかりに自治会班長総出で準備に入りました

昨年、松風台の子供さんがたくさん集まってくれて良かったという話から、今年はさらに拡大
させようと有志の人たちと議論し盛り上げる方策を練りました

その結果、大人も参加した神輿、太鼓の行列で大いに盛り上がりました

先頭に立って尽力された ■■■ さんが急逝されました

心からご冥福をお祈り致します

唯一、心配していた天候は朝からの雨でしたが、関係者の熱意からか昼前には相模屋さ
んの上空に青空が現れ、ほっとした瞬間が今でも印象的でした

また、夜の盆踊りでの発電機停電も大事に至らなかったことは関係者の迅速な対応のお
かげでした

秋の防災訓練、体育大会、文化祭

昨年の大地震から1年も経つと、やはりモチベーションが下がってしまうものですが「備
えあれば憂いなし」のもと、松風台のみならず地域も含めて防災訓練が着実に実行できた
ことは安心材料が一つ増えたことになります

体育大会では最下位でしたが準備、片付けはとても充実していました

なお、抽選会では松風台の人が見事一等を獲得しました

さらに反省会が盛り上がりました

「来年は体力、運動神経に影響の少ない種目を練習して頑張ろう！」

「運が大きく影響する種目が必要だ！」などが飛び交っていました

今年一年、やるが多かった分、たくさんの人と出会え、知り合えてほんとにやって良
かったと思っています

ご挨拶 副会長 井野昭子

総会まで、残り 2 か月余りとなりました。皆様のご協力のもと、自治会の仕事をお手伝いさ
せていただきまして、ありがとうございました。

皆様に感謝いたします

一年をふり返って 会計2 當山順子

今年 3 月で東北地震から一年たち、神奈川では心配されている東北地震もなく無事に今
年も終われそうなので、被災地の方には失礼ですが幸せに思います。

目からウロコ

事務局長 新保晃



上から見れば丸い茶筒も横から見れば四角形。自治会にとびこんでわかったことの一つが、ふだんの暮らしから気づきにくいところで多くの汗が流され、それによってひとの生活の一部がささえられ、助けられているという事実でした。そんなことはわかりきったこと、と言われればそれまでですが、世間のことは関心外、自分の趣味にはまってすごしてきたありきたりの「ポスト定年族」の一人として、これは「目からウロコ」の体験でした(わたしたちはとっくにわかってる、の声)。

日本は“成熟社会”といわれます。なにが“成熟”か、と問われても即答しかねますが、ここではとりあえず社会がむける「福祉への関心」の高さに目をむけたい。「関心」の高さにともなうつかわれるおカネの額のことはさておき、わたしたちのまわりのひとたちのところにやどる「困っているひとたち」へむける「何とかしてあげたい」というところの動きです。「地域」として「行政」としてこれを組織的に、ちみつに展開している実態にも「目からウロコ」をおぼえます。そのとりくむ姿勢のゆきとどきよう・ネットワークの密度の高さがこの社会の成熟度をあらわしているようにおもえます。その「組織・ネットワーク」のもとにあるのが「人のところ」であり、それをたぐりよせれば「聖母マリア」にゆきつきます。松風台にはいく人か、あるいは何十人かの「聖母マリア」がいます(これはちょっと言いすぎました。マリア様もいわれた本人もびっくりでしょうか。もちろん、ここでは宗教上の意味をはなれて象徴的につかっています)。疾病や障害、高齢化による日常生活の不如意に悩むひとたちへ手をさしのべることからはじまって、近隣関係からくるストレスをかかえているひとたちにはその立場に立って相談に応じるにいたるまで、無私・無償で行動するひとたちのことです。行政はこのようなひとたちをさがしだしてネットワークにくみこみ、あるいは専門的立場からのアドバイスを提供するなどして支援をはかり、効率よく成果をあげようとしています。行政もこのような「マリア」、「マザー・テレサ」がいてこそ、その結果を出すことができるのでしょう。「マリア」や「テレサ」は、わかりやすく女性の名前をかりていますが、この本質はもちろん人類固有の美質として古今東西にあまねく存在しています。

大半のひとにとって見えにくいところでこのひとたちの活動はつづけられます。「福祉は地域の“ひと”がささえる」がこの方面での自治体行政の基調でもあるでしょう。そのとおりだとおもいます。「福祉」をひとごととおもっていた世事にうとい老人が、自治会およびその周縁広域活動にかかわって得た「宝物」のひとつがこれです。この事実を目を開かされたことです。

これはひとつの角度から切りとって見えた風景であり、ひとそれぞれによって切口は無限にあることをおもえば、地域は宝の山といえそうです

一年を振り返って 総務書記 豊島智紗子

初めての役員は予想通り大変でした。でも大変だからこそ得られた新しい仲間や人間関係に感謝しています。また、今年は自治会館建て替えの準備の年となり、「法人化」など今まで縁のなかった言葉に出会ったり、その手続きの流れにほんの少しでも関われたことは面白い経験だったと思います。

書記の仕事は四月の総会まで続きますのでほっとできるのはその後になりますが、もう 少し要領よく、気持ちをもう少し楽にして議事録に取り組みたいと思います。今年の部長役員、班長さんの多忙さが今後の自治会活動の簡素化につながって行くようお願いいたします。

一年を振り返って 会計1 齋藤立子

今年度は会費値上げがありました。消費税値上げの前に削減ありきと叫ばれている時でしたので、自治会も何か引き締めなければいけないのかと緊張してスタートした会計でしたが…。

決算書予算書・帳簿を見ていくうちに「自治会班長は輪番制なので、国の予算などと違い会計に無駄はなく不透明になることはないんだ」と感じたことを覚えています。

自治会のお金を預かることは気の重い事ではありますが、月末のPC集計が通帳の残高とピッタリ合う満足感は数独を解いた達成感に似てちょっとした楽しみでした。

会計を見ると全体像が見えてくるといいます。夏祭りは何といっても自治会の一大イベントですが、会計報告は、新しい企画を盛り込んで盛大に行われた夏祭りが例年通りの限られた予算で切り詰めて行われたことを示していました。実行委員会始め皆さんの工夫と努力に感謝しました。

一期一会、多くの人との出会いがあり、多くの事を学び、思い出に残る一年となりました。有難うございました。

一年を振り返って 監査: 橋田憲次

松風台が自治会活動を通じて、住みよい環境を維持されていることを改めて認識しました。

第一の関門、役員選出ですが、今年も例年通りの経過をたどり、私は会計監査となりました。

最初に「会則改定委員会」の委員になりました。法人化することをご存知の通りですが、このためには、法人化に即した会則を作り、それを市が了解してくれることが大前提です。ようやく12月に市の了解に達しました。数ページの会則ではありますが、討議審議には、相当の日時をかけて作成しました。お金はそう簡単には頂けませんね。

夏には、夏祭りの準備に加わり、テント張り、みこし通路の線引きなどに加わりましたが要領よくできたのも、祭りのベテランの方が多数おられるからだと思います。でも、祭りは大変なエネルギーの要ることを実感しました。当日は受付を担当しましたが、途中、合間を見て盆踊りの輪にも加わりました。踊ったのは何十年ぶりだったでしょうか、私も楽しませていただきました。祭りは盛会で良かったです。

祭りの映画を観ました。良くできたシナリオで、見ごたえがありました。その一コマに、祭り男の■■■■さんが「みこし」を担いでいるシーンがありました。今もその場面が、脳裏に焼き付いています。早い逝去残念です。

秋には「まち探検」に参加、町内の安全・環境などの調査？などのお手伝いをさせて頂きました。結果報告は別途あるかと思います。

私の仕事は、会計監査だけかと思いましたが、色々の事をさせて頂き、自治会の内容を良く知る機会となりました。

自治会に参加して、多くの方とお知り合いになったのは収穫でした。

年度末に向かい、これからが、私の本来の業務となります。きちっと終わらせたいと思います。

総会も無事終わり、滞りなく引き継いだ暁には、皆さんと一緒に、美酒を飲みたいものです。

	部員・班員の方にほんとうに恵まれて、班長も「あと少し…」と思えるようになりました。「夏まつり」は山場でした。次から次へと課題があり、みんなで考え、工夫し、分担して、乗り切れたと思います。このような機会であれば知り会えなかっただろうなと、思う感謝と、喜びと、次に班長がまわってきたときに、こんなに動けるかしら？という不安と、疑問を感じます。班長の仕事の軽減と、部長さん、役員さんへの依存も、減らしていけないといけないのでは？と、思いました。			班長さん 語録
今までの回覧ではなかった「夏祭り新聞」が絵がいっぱいで、よかったです。絵だとわかりやすいですね、	一年間 班長さん ご苦労様でした	いいメンバーで、楽しくやってこれた事が良かったです。 また、大きな問題もなく、あつと言う間の一年間でした。	今年は回覧物が多いと文句を言われました。 年を取ると、回覧物の受け取りが月に3回は大変でした。 昔は2回だったと思うのですが？	
	三度目の班長となった今年、想像していたよりずっと、楽しくお役目をつとめております。 一番良かった点は、お知り合いが増えたこと、そして、地域の方々との大切なつながりに気が付きました。 班長のお仕事はそれなりにありますが、一年間動くことは、自分の為にもなります。来年度の班長さんが、マイナス面ばかり頭に浮かべず、プラスの面にも目を向けてくださることを希望しています。			回覧版が途中で紛失した班がありました。 回覧を空き家のポストに入れてしまい、1ヶ月遅れになった班もありました、いろいろあった一年でした。
あつと言う間の一年が忙しく過ぎました。 部員であっても文書配布や回覧が以前より多く、役員・部長はもっと大変だったのではと思います。 何とか仕事を減らしていけないと、同年齢の人たちが多いので、数年後の班長はこのままではできないでしょう。 松風台東側遊歩道は、花を植えてきれいにしたいかがでしょうか。		班長になって、同じ松風台に住んでいても今までお会いしたこともなかった方々と親しくなれて、楽しんで自治会の仕事が出来た一年でした。	松風台に、みこしが大好きな2歳の男の子がおりました。 夏祭りの記録のDVDを何度も見ているそうです。祭り48ジュニアですね。楽しみです。	
	【転入】 4月 4月 4月 4月 6月 8月	【転入・続き】 12月 12月 【転出】 9月	【計報・惜別】 7月 8月 9月 11月 12月 12月	【2013 年成人式】
4月 時刻表の作成 	4月～茅ヶ崎市広報誌 	8月 松風台夏祭り 	9月 防災訓練 	10月 香川地区体育祭 
2012 年度 文化広報部部員 佐藤美幸 長尾君枝 岡村公子 平野さん(娘さん) 杉本百合子 杉本さん(娘さん) 間瀬ミチ子 間瀬さん(娘さん) 柳澤哲	編集後記 2012年度の文化広報部は、6名が其々仕事を分担し、何とか無事に業務を終えられました。 部員の中には、親子で協力し合って業務をされていた方もおられました。 又、松風台の遠くの端から、夜の会議に自治会館まで歩いてこられ、特に、雨や強風の時には大変だったと思われれます。 色々な行事が済み、幾分ほっとしておりますが、文化広報部は3月末まで、茅ヶ崎市広報の配布作業が続きます。 この広報の受け取りが大変なものです、2日の間に何時に届くか、宅配業者の都合によるもので、最初のうちは、部員が何度も自治会館まで出向いて調べておりました。 会館運営部の方からの連絡や、見知らぬ人からの電話連絡で助けられました。 会報「まつかぜ」は、班長さんたちの言葉で締めくくりたいと思います。			